

【緊急】ハンドマイク宣伝例【北朝鮮ミサイル発射を糾弾、政府は対話解決に全力を】

2017年9月15日

道常任委員会

みなさんこんにちは

日本共産党の〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん

15日、北朝鮮が弾道ミサイルを発射しました。ミサイルは日本上空を通過して、太平洋に落下しました。先月29日のミサイル実験と今月3日の核実験に続く暴挙であり、断じて許されません。日本共産党は15日、志位委員長が談話を発表しました。北朝鮮のミサイル発射は、度重なる国連安保理決議などに違反する暴挙であり、厳しく抗議し、軍事的な挑発を中止するよう、厳重に求めます。

国連安保理は11日、北朝鮮に対する経済制裁を全会一致で決議しました。また決議では、経済制裁の強化とともに、「対話を通じた平和的解決」を呼びかけています。関係する国々は、緊張を高める軍事的な行動は行わず、対話での解決に全力を尽くすべきです。日本共産党は、アメリカと北朝鮮に、「直接対話」に踏み出すよう、重ねて呼びかけます。そして日本政府に對しても、「今こそ対話に踏み切るべきだ」と米朝両国に訴えるよう、強く要求します。

みなさん

アメリカと北朝鮮の緊張が高まれば、間違つて軍事衝突が起きてしまう危険も高くなります。万が一そうなれば、日本に暮らす私たちを含め、おびただしい犠牲が出ることは明らかです。軍事衝突は絶対に避けるべきです。いま世界は、対話による解決を求めています。韓国やロシア、中国は、対話を通じた解決を訴えており、アメリカも対話を模索しています。スイスやドイツを始めとしたヨーロッパ各国は、アメリカと北朝鮮の対話を仲介すると発言しています。

ところが日本政府だけが、北朝鮮が「核開発を放棄する意思と行動がない限り、対話に取り組むべきではない」と、「対話否定論」を繰り返しています。諸外国が対話を通して解決しようとしているのに、平和憲法を持つ日本が対話を否定するとは、あまりにも異常なことではないでしょうか。みなさん。「圧力一辺倒」に凝り固まって、「対話など意味がない」と繰り返しては、軍事的な緊張を和らげることはできません。大切なのは、まずは話し合いを持つことです。アメリカ国内でも、元国防長官たちが「制裁だけで問題を解決することはできない」、話し合いこそが「唯一の現実的な選択肢」だと訴えています。

みなさん

日本共産党は8月12日にも志位委員長が声明を発表し、北朝鮮の軍事的な挑発行為の中止と、アメリカと北朝鮮が無条件で直接対話をする事、それを日本政府が強く後押しすることを求めました。安倍政権は、軍事的対応をおおるような態度をただちに止め、平和的・外交的解決のために、両国の直接対話を実現させるよう、全力を尽くすべきです。日本共産党は、憲法9条をもつ国として、対話と外交を通じた解決に向けて国際社会に働きかけるよう、日本政府に強く訴えます。

日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」は、日刊紙はひと月3497円、日曜版は823円です。「しんぶん赤旗」の購読もお願い申し上げます。この場での訴えとさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。